

八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 27 年 6 月 八王子市生涯学習審議会	
日 時	平成 27 年 6 月 22 日（月） 午後 7 時 00 分～9 時 00 分	
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室	
出席者氏名	委 員	三浦眞一 岡本夢乃 炭谷晃男 浅井揚三 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子 尾暮亮 加藤方浩 小林正博 小宮山博仁 村上ひろみ
	事務局	井上生涯学習政策課長 塩澤主査 川久保主事 新井学習支援課長 村田南大沢図書館長 中村中央図書館長 新堀生涯学習センター図書館長
欠席者氏名	柴田彩千子	
議 事 案 件	≪議題≫ ・平成 26 年度八王子市生涯学習関連事業評価について	
	≪報告事項≫ ・教育委員会定例会における関連事項について ・由井市民センターみなみ野分室地区図書室の図書館分室化の進行状況 ・「夏休み 図書館に行こう」図書館夏のイベントについて ・東京都市町村社会教育委員連絡協議会 定期総会について ・東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第 1 回役員会・拡大役員会について	
配 付 資 料 名	・生涯学習関連事業評価シート ・中央図書館みなみ野分室の開設について ・夏休み 図書館に行こう ・都市社連協 定期総会配布資料 ・都市社連協 第 1 回理事会配布資料 ・はちおうじっ子の夏休み！ イベント・催しいろいろ ・平成 27 年度版「はちおうじ出前講座」 ・らいぶらりい No.122 ・第 2 次八王子市教育振興基本計画「ビジョン はちおうじの教育」	
	1. 開 会 2. 定足数の確認 出席者 12 名、会議の成立を確認 3. 会議録署名委員 加藤委員を指名 4. 議 事	

議事案件 平成 26 年度八王子市生涯学習関連事業評価について

八王子生涯学習プラン(平成 22～26 年度)に基づく評価である。各所管において、事業ごとに評価をし、事務局にて取りまとめを行った。本日は「6 つの柱」に対する評価と総合評価につき、審議会としての大筋の方向を示していただき、次回の会議までに事務局より文案を提示する。

説明者：事務局

推進の柱 1 について

委員：次年度の方向性について、体育館工事による休止や、隔年開催の事業については、「廃止・終了」ではなく、「一時休止」ではないか。隔年開催事業について、本シートではわかりづらい。

生涯学習政策課長：(38・39 番) は、前年度実績が空欄であり、前年度の実施がないことがわかる。27 年度に実施し、28 年度は実施しない事業もある。毎年実施している事業の見直しを行い、隔年開催にしたものもあるが、この表だけでは確かにどれが隔年開催かはわかりにくい。また、廃止事業については、26 年度で廃止となった事業を含め掲載している。市民体育館は、来年 2 月に再開するので、事業についても実施予定。

委員：「廃止・終了」について 25 年は 12 件、26 年度は 31 件と 3 倍近く増加している。考え方を整理した方がよいのではないか。

事務局：類似事業を複数所管で実施しているものについて、所管で統合に近い形で見直している。「廃止・終了」の表現を工夫する必要があると思われる。

委員：1-⑤意識啓発として、どのような内容・方法で実施するのか。意識啓発については、行政としてこの文言では受身である。積極的に生涯学習の大切さを PR する必要がある。市の一部が生涯学習の推進を謳っても、現場(学校等)に PR しないと意義が伝わらないのではないか。今なぜ生涯学習が必要かを PR しなければならない。生涯学習に取り組むと、このように変わるといふ具体例を示し、市民に働きかけることが必要である。

委員：(120 番) 市民自由講座が 25 年度は A 評価だが、26 年度が B 評価となっているのはなぜか。

生涯学習政策課長：事業目標をほぼ達成したものを B 評価とし、目標を超え充実させた事業に対し A 評価を付している。評価理由は講座数、受講者数が昨年を上回らなかったためと思われる。

委員：人数の割合からすると A 評価でもよいのでは。

会長：講座数減であるが、人数が多ければいいということではない。内容(1 講座に対し受講者は何人か)がポイントでは。

推進の柱 2 について

委員：2-③に分類される事業は 4 件のみである。学園都市八王子として、いちよう塾(167 番 八王子学園都市大学)などの課題を記

述してはどうか。また、学園都市八王子の特色が「主な取り組み」と繋がっていない。いちよう塾について書いた方が、取り組みとして適切ではないか。

推進の柱3について

委員：生涯学習の取り組みの中では、小中学校のウェイトも高いはず。小中学校に関する講座が少ない。私立学校では、地域社会で活躍している卒業生が学校に出向き、職業を紹介するような出前講座を行っている事例もある。そのような取り組みが生涯学習に繋がり、それらの経験により、子どもが学習を始めるきっかけとなったというデータもある。年間1回程度、働く意義や、世の中について児童・生徒に話してもらうなど、イベントとして実施してもいいのではないか。

生涯学習政策課長：小中学生対象の講座が少なく、高齢者・障害者を対象としている事業が多いのは事実である。現役生に経験談等話を話してもらうのは有効であると思われる。新プランでの「まなぶ いかす つながる」のスローガンの下、学校教育と連携しながら検討する。

会長：現在も、小中学生を対象とした図書館での職場体験（187番）等を実施している。特に低学年からの社会や生涯学習との接点という意味でも、どのような支援が必要かを検討した方が良い。

委員：司書資格を取りたい児童に対し、館長が学校に出向き、仕事内容を説明するのも生涯学習では。その他にも、スーパーの店長に説明してもらうなど、実際に職業についている方に来てもらうのは有効であると思われる。

会長：そのような取り組みも行っている学校はある。「講座」としてではなく、「体験」として行っているものも事業に含めても良いのでは。

委員：学校教育に対しての学習活動支援は相当数あると思われる。ゲストティーチャーや自治会、NPO法人等、連携的な学習支援といえる。また、本評価では（159番）放課後子ども教室が、学習拠点の支援として記述されているが、どの要素に着目するかで見方が変わる。

推進の柱4について

委員：（236番）生涯学習フェスティバルが、昨年のA評価から今回はB評価となっている。来場者数減のためのようだが、なぜB評価なのか。学習活動をしている団体を支援することが重要であり、来場者数は評価の対象ではないのでは。

生涯学習政策課長：評価基準として、「発表者」に視点を当てる方が良いか。

会長：そういう方向に転換してもよいのでは。評価の方法についても検討を。

委員：推進の柱4についても小中学生に関する取り組みが少ない。八王

子市では、読書感想文コンクールを行っているのですが、その点を記載してはどうか。

- 事務局：読書感想文コンクールは推進の柱2（2-④）に計上している。
- 委員：成果を発表する場があれば、モチベーションが上がる子もいるはず。市で課題を与えて、調べたものを発表する機会を作ってはどうか。例えば「道の駅」をテーマとし、自分たちで調べさせてみるなど。
- 会長：子どもはスポーツに関心をもつことが多いが、文化系なことを得意にしている子もいる。

推進の柱5について

- 委員：5-④少子高齢化社会に対応したまちづくりの「めざす方向」と「現状と課題」が繋がらない。他自治体では高齢者の力を活かした学習支援を小中学校で行っているが八王子市での実施はあるか。
- 学習支援課長：生涯学習センターでは、高齢者ボランティアを講師として小学生に八王子かるた（164番 市内連携事業）を実施。また、中央図書館は、（189番）はちおうじ千人塾で学んだ成果を子どもに話す講座等、高齢者が学習を支援する取組を行っている。
- 委員：学力の向上を目的に、高齢者が学校で勉強が遅れ気味な子をフォローする取組を行っている事例がある。この取組より教員は授業を進めやすくなる。経済格差という問題があるが、塾にいけない子をフォローするために、ボランティアを活かした取組を提案したい。
- 学習支援課長：生活保護受給世帯の子を対象に、夜間に生涯学習センターを使用し支援する取り組みを福祉部で実施している。また、（159番）放課後子ども教室でも週1日学習コーディネーターが宿題を見る取組を行っている。
- 会長：児童館での取組はあるか。
- 生涯学習センター図書館長：一部児童館で試行的にNPO法人がひとり親家庭の子を支援する取組を行った。
- 委員：学習支援についても事業評価で触れていただきたい。
- 委員：推進の柱5では昨年と比較して市単独で実施している事業が12%多い。生涯学習プランにおいて、「市民との協働」を掲げているが、市単独事業が多い理由はあるか。そのあたりも触れた方が良いのでは。
- 事務局：分析して文言を調整する。

推進の柱6について

- 委員：「情報収集と提供のしくみづくり」の項目の趣旨は参加者を増やすためであるか。
- 生涯学習政策課長：市民の選択の幅を広げることが趣旨である。参加しやすい講座を増やすことと、講座情報の周知についての項目である。

委員：民間では「ロコミなどで人を誘えば半額になる」などの取り組みを行っているが、行政でも検討してみてもいい。

学習支援課長：手法を検討する必要がある。行政として受講料を半額にすることは難しいが、「ロコミ」は大切である。SNSを活用し、電子上のロコミも活用したい。課題としては、定員を超える申込がある講座があること。

会長：手法は検討いただきたい。

委員：(403番)電子申請システム共同運営は、25年度のA評価から26年度はB評価となっているが、理由は。

事務局：所管に確認する。

委員：SNSは悪口等を拡散されるというデメリットもあるため注意が必要である。

会長：図書館ではSNSを活用しているか。

中央図書館長：単独では使用していないが、必要があれば学校教育部で管理している「はちおうじの教育」のSNSを使用している。

全体をとおして

委員：「市民センターまつり」は生涯学習に関連性が高いが、記載がないのはなぜか。

事務局：(216番)に掲載している。

委員：「市民センターまつり」については参加団体数、人数を載せた方がよいのではないか。

会長：本事業は一番地域に密着している。別箇で団体数等を示していただきたい。

委員：現在の評価方法は参加人数によってA評価がB評価となっているものが多いようだが、参加者のアンケートをとり、満足度で評価してはどうか。

生涯学習政策課長：アンケートをとっているものととっていないものがあるが、今後の参考にする。

委員：新たな生涯学習プランの施策ごとに分類されているが、新プランにおける評価方法については検討するのか。

生涯学習政策課長：そもそもの評価手法について見直し、より有効活用できるように検討する。

委員：多数の事業があるが、一つずつ細かく事業を掲載しているものと、一まとめに掲載されているものがある。多くの予算が計上されているものは細分化し、それ以外の講座は全体で一事業として掲載してはどうか。

生涯学習政策課長：生涯学習関連事業の選び方自体を見直していきたい。

委員：数字以外にアンケートをとっているのであれば、参加者のエピソード評価を加えることで、市民にとってわかりやすくなるのでは。

会長：アンケート等をインターネットなどで配信し、それを読んで参加

したいと考える市民がいればありがたい。手法の検討を。
委員：料理教室などに、英語を取り入れてみては。(英語が学べる料理教室など)
会長：今後の講座企画の参考にしていただきたい。

《報告事項》

- ・教育委員会定例会における関連事項について
教育委員会定例会の議事案件の中から生涯学習関連事項について報告
(会議次第2ページ参照)
前回、質問のあった教育委員会定例会における公開・非公開案件の取扱基準については、原則公開であるが、個人情報や意思形成過程の案件を扱う際は非公開となることを報告。

報告：生涯学習政策課長

- ・中央図書館みなみ野分室の開設について
より身近な場所での読書機会の提供のため、利用者数の多い由井市民センターみなみ野分館地区図書室を中央図書館の分室に位置づけ、サービスの拡充を図る。

報告：中央図書館長

- ・「夏休み 図書館に行こう」図書館夏のイベントのについて
夏休み期間中にいて、小中学生を対象にしたイベントを多数実施する。

報告：南大沢図書館長

- ・平成27年度都市社連協定期総会の開催について
4月18日(土)あきる野市 秋川キララホールで開催。
議事案件はすべて賛成多数で可決したことを報告

報告：事務局

- ・東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1回役員会・拡大役員会について
5月28日(木)西東京市防災センターで開催され、三浦会長(都市社連協今年度副会長)と事務局が出席したことを報告。

報告：事務局

三浦会長：次回は7月28日(火)午後7時から生涯学習センターにて開催する。詳細は別途事務局より通知をする。本日の会議は以上をもって終了する。

5. 閉 会 (午後9時00分)

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員

会議の内容

--	--